

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 グループホーム くらら門田屋敷

日付 平成19年11月28日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 ケアセンター介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

皆さんお変わりなくお元気だろうか? 閑静な住宅地の中、木々の緑に囲まれた川沿いの道をホーム目指して歩く。訪問するのは、昨年に続き3回目になる。リビングにAさんが座っている。Aさんはすぐにトトロ口寝してしまう。「起きて」と声を掛けると、にっこり笑う。表情がとても穏やかになっている。「こんにちは」と言うと「こんにちは」と返してくれる。Aさんが向こうの方をじっと見ている。視線の先にあった女の子の人形を手渡すと、「かわいい」と言ってくれたので、びっくりした。以前は反復以外殆んど発語はなかった。今は時折感情に伴った答が出てきている。病状は進行している筈なのに人間性は回復している。ホームは開設10年目、グループホームのパイオニア的存在だ。それ故に利用者の重度化は避けられず、要介護5の人が全体の半数近くを占める。皆と一緒に過ごせるよう、リビングのあちこちにベッドや長ソファを置いている。職員達は常に心のアンテナを張り、利用者の気持ちを敏感に察知して、よく話しかける。ごく普通の会話をしながら、寝たきりで殆んど反応のないBさんのほっぺを撫でてみる。閉じた目元が少し動いて、気持ち良さそうにあごが伸びる。僅かな動きで、職員にはBさんの気持ちが分かる。黙って眠っているように見えても、Bさんは人の気配を感じて会話を聞いている。独りじゃない、気に掛けていてくれる人がいる。信頼は安らぎとなる。食事の時は全員テーブルにつき、一緒に食べる。「今日はオデンよ」職員が言いながらスプーンをBさんの口元に運ぶ。Bさんは目を閉じたまま大きな口を開けて食べる。嚥下は大丈夫、食欲旺盛、食事はBさんの楽しみになっている。Bさんが目を開けた。見慣れない人がいると言いたげに見ている気がして、「こんにちは」と言って見たら、ゆっくり「こんにちは」と答えてくれて嬉しくなった。「ここにいたら、どんなになっても、ちゃんと看てもらえて安心よ」比較的軽度のCさんが教えてくれた。ゆとりある人員配置を行い、利用者一人ひとりに手厚い介護ができています。寝たきりになっても、接し方によっては、言葉をたまには発して笑顔も出る。認知症になっても、人として気持ちが通じて心は通い合う。病状での悪化は避けられないが、心は元気になる。自然なやり取りの中で思いを伝え、受け止めていく、言葉を越えた気持ちで接する介護の実践を見て、ケアの尊さを感じた。

特に改善の余地があると思われる点

介護計画や介護・生活記録は、様式も合理的に作られ、日々の様子が見やすい。この記録と計画をより機能的に活かしていくには、記録の一例に全職員が自分の体験したり、考え事を付記していくと、職員全員が作り上げていく記録や計画になると思う。アセスメントの材料やモニタリングのための資料が記録の中から拾い上げられるようなメリハリをつけていって、素晴らしい計画と記録法に挑戦して欲しい。

グループホームの運営法と職員の処遇によって、利用者にも与えるケアサービスの効果がどのようになっていくのか、ピンからキリの一辺を表わすモデルでもある。福祉介護の業界の中で、介護士の処遇が課題になっている中で、是非良い効果が発揮出来るよう期待する。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…特に問題なく改善事項なし。</p> <p>2. 全体的に見て…個人の自由・尊厳・プライバシーを尊重しながら、一人ひとりに合わせた、気の合う人とのグループ生活を、出来ることは極力自分で行い無理のない自立を促しながら、生活・心の視点で、家族と共に支援する事を理念として掲げている。管理者は実践を通じて「その人らしく過ごせるように共に生活していきたい。何事も自分に置き換えて、こうしてもらったら良いだろうと思える支援をしたい」と言う。利用者と一緒に暮らすうちに、理念を基盤にしたこのホームのあり方を体得できている。母体法人は、福祉の仕事をしている人の給与を改善していこうと考え、介護事業に進出したそうだ。時代を先取りした母体法人に支えられたホームの在り様は、ひとつの指標となるだろう。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…利用者の重度化のため土いじりを楽しむ事は無理なので、隣接する福祉専門学校と相談し、来年度より学生に外周空間を活用してもらおう検討しているそうだ。学生達が入りすれば交流も生まれ、ホームの活性化にもなり、学生にとっても良い体験になる。互いに有意義だと思うので、是非実現して欲しい。</p> <p>2. 全体的に見て…リビングの壁や窓辺に沿って、長ソファが2つ、ベッドを4つ配置し、重度化した利用者も皆と一緒にいられるよう配慮している。廊下には、仏像を安置し、その前に縁台風ベンチを置いている。夜は利用者達の心の癒せるようにと、仏像周辺を照明で明るくしているそうだ。利用者の気持ちに添った優しい心遣いを感じた。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…特に該当する改善事項なし。</p> <p>2. 全体的に見て…比較的軽度のCさんは、洗濯物を畳む等できる家事を一手に引き受け、やりがいを感じつつこなしている。しかし、利用者の重度化のため、皆で一緒に共同作業はできないのが現状だ。そこで、ホームでは一人ひとりに合わせた個別対応に力を入れている。徘徊のあるDさんは、日に何度も散歩に行く。周辺をぐるりと回りする内に落ち着いて、機嫌よく帰ってくる。トトロすぐに寝てしまうAさんと車椅子で出掛けた「あっ、キンモクセイが咲いているよ、職員の指差す方を見る。丁度近くの小学校の下校時刻で、子供達の元気な声が聞こえる。Aさんは優しい目で子供達を見ている。外にいると不思議とAさんは眠らない。「ずっと家に居ると、外の空気に触れるのとは全然違うと思います」職員の言葉に納得した。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1. 自主評価について…改善項目特になく、できていると判断している。</p> <p>2. 全体的に見て…入所して1ヶ月足らずの利用者の家族に会った。彼女は母親の認知症をまだ受け入れる事ができない。母が自分を娘と認識してくれないのがショックで、ついに怒鳴ってしまった。お家はどこかと聞かれ、「ここが私の家」と答えた母に困惑している。認知症になっても、その人の行動には理由がある。それを自分に置き換えて考えると何故そうするのか分かる。家はここだと答えたのは、ホームへの気遣いかも知れない。管理者や職員は、彼女の悩みに親身になって対応している。「今、目の前に居る母をそのまま受け入れていきたい」と娘さんは思い始めた。在宅介護に深い理解を持ち、いつでも往診に来てくれる医師の協力を得て、ホームでのターミナルも多い。重度化のため人手が足りないと言えば、母体法人は職員を増やしてくれた。家族・医師・ホーム全てが力を合わせて、利用者の今この時を支えている。</p>		